



志幌の
志

魅力
～発見・創出・体験・体感

誇り
～好き・尊敬・愛着・自信

未来
～創生・交流・夢・発信

2025
6

作成：士幌町教育委員会

「令和6年度第2回士幌町学校運営協議会連携会議」開催

3月27日(木)に令和6年度第2回学校運営協議会連携会議を開催しました。

会議では各学校運営協議会の令和6年度の取組についての、振り返りと課題について発表いただきました。今年度は特に CS コーディネーター制度を導入しており、コーディネーターには、学校と地域をつなげる役割を担っていただきました。

そうした状況で特に中学校では職業体験学習など、コーディネーターを活用した本会議において話された内容は次のとおりです。

各協議会報告内容

【士幌町認定こども園】

振り返り

- ・ 2歳児の高校へのバス遠足を実施した。
- ・ 3歳児のデイサービスへの訪問を実施した。
- ・ 4歳児のやきいも体験を実施した。
- ・ 年長児で実施した「こどもお茶会」について、抹茶の会・陶芸クラブのサポートを得ることができた。
- ・ 夏祭りを役員と共に実施した。
- ・ 卒園記念として熱気球体験搭乗を実施した。

課題

- ・ 熱気球が地元クラブではなく、上士幌のクラブの活用となってしまったこと。
- ・ 幼小連携の小学校側との意識の共有を図ること。
- ・ 先生方の地域との繋がり、結びつきが深まらないこと。
- ・ 地域側の「子どもたちのために」という気持ちを拾い上げきれてないこと。

次年度に向けて

- ・ 今年度実施できた取組については定着、深化を図る。
- ・ 年長児「夜まで楽しま Night」の夕食づくり（サンドイッチ）を発展させる。
(例：ハスカップを摘んでジャムをつくるなど)
- ・ 園の農園、収穫物の調理等の「農」と「食」の一体的充実。
- ・ 歌の指導にコーラスサークルなど保育・教育への地域人材の活用。
- ・ CS 担当リーダーを位置付け取組を強化していきたい。

大人の『本気』が子どもの『志』を育む！

【土幌高校】

振り返り

- ・育てた大豆を民間業者の協力を得て豆腐にして販売することができた。
- ・小学校の給食でも提供することができた。

課題

- ・担当者への負担が大きいため、取組について、まず内部でしっかりと共有しながら進めていく必要がある。

次年度に向けて

- ・運営協議会で出た案として、生徒の昼食に関わって自動販売機の販売形態について見直しては、という意見が出ており、今後検討していく。

【中央中学校】

振り返り

- ・食育の観点で1年生を中心に酪農体験学習を実施。
- ・職業体験学習を2年制で実施。CS コーディネーターを活用し、事業者との連携が取りやすかった。
- ・土幌町の特色に関わる学習として、3年生が道の駅でミニ商店街の取組を実施。子ども達が積極的に地域と関わるすることができた。
- ・部活動では、美術部が郵便局シャッターへのデザインやしほろ7000人のまつりのステージ看板の作成、乳フェスへ参加した。
また、美術部・吹奏楽部が土幌のアイスクャンドルの取組に参加。
- ・学校運営協議会について学校経営の承認をしっかりと取り組むことができた。
- ・CS コーディネーターには運営協議会にも参画いただき、充実した会議となった。

課題と次年度に向けて

- ・地域住民の幅広い声を学校経営に反映することが大切なため、こども園の保護者を協議会委員にに入れるなど、様々な人員を確保したい。
- ・次年度の学校運営協議会のスケジュールを次年度を迎える前に完成させ、新年度からすぐ活動できるよう体制を構築する必要がある。
- ・地域人材を活用した取組には学校側のビジョンを必ず共有しておく必要がある。

【土幌小学校】

振り返り

- ・JA 青年部の方の協力の元行ったアグリスクールの取組を実施。
- ・大地くん学習の実施。
- ・夏休みの学習サポートで高校ボランティア部に来ていただき、中土幌小学校で一緒に学習した。
- ・CS コーディネーターに冬休みの学習サポートを手伝える方を募ってもらった。
- ・2年生のむかし遊び体験学習に地域の方をお呼びした。

課題と次年度に向けて

- ・運営協議会委員は様々な方が委員になっているが、それぞれの想いを拾い上げ、学校独自の取組として活かしていく、ということをより一層活発化させていく必要がある。

大人の『本気』が子どもの『志』を育む！

【中土幌小学校】

振り返り

- ・地域産業や地域人材を活用した学習
低学年：しほろキッチンの方々にご協力いただき、中土幌小学校の畑で取れた作物を使ってカレー作りを行った。
中学年：上土幌町ひがし大雪自然館の職員の方にお越しいただき、学校周辺の生態系や植生について学習を行った。
高学年：大西製粉所さんや醤油醸造所を見学させていただいたり、ゲストティーチャーとして町内の作曲家の方に授業を行っていただいたりするなど、幅広く学習を行った。
- ・交通安全マップの作成では、CS コーディネーターを通して町内でイラストが得意な方に依頼し、作成にご協力いただいた。

課題と次年度に向けて

- ・コミュニティ・スクールの取組についての共通テーマである3つのしょく（食・職・色）を教育課程の中で位置付けるには至っていないが、今後取り組みを充実し、学校の特色ある活動に繋げていきたい。
- ・次年度に向けた運営協議会の提案で、消防団を活用した避難訓練実施(地域人材の活用)の提案があったため、検討する。

【上居辺小学校】

振り返り

- ・しほろキッチンでの調理や、いただきますカンパニーの方によるビートの食育授業など外部機関を活用した学習に取り組めた。
- ・鎌ヶ谷交流で鎌ヶ谷市から訪問があり、他の地域に住む方との交流を通して土幌の良さを改めて学ぶことができた。
- ・地域のお年寄りの方との交流として、クリスマス会等に参加して学校の紹介をするなど取り組んだ。

課題と次年度に向けて

- ・外部講師を呼ぶ授業について多岐にわたるため、精選をしていく必要がある。
- ・そうした外部との連絡調整については地域を活用する部分ではCS コーディネーターをもっと活用していきたい。
- ・学習の目的を明確にし、教科等も含めて継続性のある活動を意識していく必要がある。

CS コーディネーター

- ・CS コーディネーターとしての取組は初年度であることから、学校ひいては先生が地域とつながることを手助けすることを目標に活動してきた。
- ・1年間の活動を通して、地域の方々と学習を展開することの良さ、難しさを実感した。
- ・来年度も学校での課題で活用できる部分があれば積極的にCS コーディネーターを活用していただきたい。

大人の『本気』が子どもの『志』を育む！